

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン

2020年度第2回理事会議事録

1. 日 時 : 2020年6月21日(日) 10:00~11:20
2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル会議室 ZoomにてWeb会議
3. 出席者
 - (1) 本人出席者 9名
大橋健、水野勝教、今井俊二、中島晃芳、島谷太、森重智年、小山航太、松山森仁、田中宏明(監事)
 - (2) 委任状提出者 2名
松原仁、野村泰朗
 - (3) 理事以外出席者 3名
前田正久(事務局長)、浅沼まり(事務局)、休場万喜(事務局)
4. 議 事
 1. ロボカップジュニア ジャパンオープン2020出場資格証明書について
 2. ロボカップジュニア ジャパンオープン2021名古屋大会について
 3. バッテリー取り扱いに関するルールについて
 4. 今後の見通しについて
 5. 議事録署名人の選定
 6. その他
5. 資 料
 - 資料1-1. 出場資格証明書・ブロック長入力フォーム(案)
 - 資料1-2. 出場資格証明書(案)
 - 資料2. ロボカップジュニア ジャパンオープン2021名古屋大会について
 - 資料3. バッテリーの取り扱いルール
 - 資料4-1. 2020年数字予測
 - 資料4-2. 持続化給付金申請書類
6. 議事概要
 - (1) 議長の選出
①大橋代表理事が議長に選出され開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。
 - (2) ロボカップジュニア ジャパンオープン2021名古屋大会について
①大橋代表理事より、資料2に基づき、名古屋市から大橋代表理事を開催委員会委員長、水野専務理事を実行委員長として就任依頼があり、満場一致で承認された。
 - (3) 今後の見通しについて
①島谷理事より、資料4-1に基づき、コロナの影響により2020年のジャパンオープンが開催されなかったため今年度の収支見通しについて説明がなされた。また、資料4-2に基づき、持続化給付金の申請手順を説明し200万円が給付されたことが報告された。
 - (4) ロボカップジュニア ジャパンオープン2020出場資格証明書について
①出場資格証明書を有償もしくは無償で発行するかの議論がなされた。前田事務局長より、有償が望ましいが、参加者から証明書発行の要望はあるのかとの問いに対し、水野専務理事より参加者より要望があるとの回答がなされた。大橋代表理事より、これまでの議論から、有償にすると振込確認等の事務作業が増えるのではないかと意見があった。ブロック長から各チーム情報を事務局に提出してもらい、事務局がPDF化した証明書をブロック長へ一括して送信し、ブロック長から各チームへ送信してはとの意見があった。松山理事より、PDFによる無償提供には賛成するが、数年後データを紛失した等による再発行には応じることの問いがなされた。水野専務理事より、例年通り参加証明書の再発行はしないと回答がなされた。大橋代表理事より、出場資格証明書の有償または無償発行の採択がなされ、満場一致で無償提供することとなった。但し、今回の出場資格証明書の発行は、ジャパンオープン中止に対する特別措置であり、今後このような対応は行わないことを確認した。
②中島理事より、資料1-2に基づき、出場資格証明書に開催地和歌山のロゴを入れたものを使用する案が示され、承認された。また、資料1-1の入力フォームについては、今回は無償で証明書を発行するため、メンター情報を削除することで承認され、事務局は和歌山市からロゴ使用の承認を得た後、証明書発行作業を行うこととなった。

(5) バッテリー取り扱いに関するルールについて

①松山理事より、資料3に基づき、来年度に向けたバッテリー取扱いルール公開の承認を求めた。

・森重理事より、ルール内容は2020年度版を2021年度に継承したもので賛成だが、何か懸念事項はあるかとの問いに対し、松山理事は会場が変わることによる充電場所の確保等に懸念はあるが、ルール自体には懸念は無いとの説明がなされた。

・大橋代表理事より、ルールの公開予定を問われたことに対し、松山理事より、2020年度和歌山大会が中止されたため、2020年度のルールをまだ公開していないので、まずは早い時期に2020年度版をホームページ上に公開し、それを基に競技者には次年度の準備をして欲しい。2021年度版は、名古屋の会場レイアウトを考慮した上で、修正をし発表するとの説明がなされた。

・森重理事より、名古屋の実行委員会は9月発足を予定しており、図面は11月頃になるのではとの懸念が示された。これに対し、大橋代表理事より、7月頃には事務レベル間で2020年バッテリールールを基に話し合いを行い、9月頃までには2021年ルールを発表、会場レイアウトについては7月中に実行委員会で作成をし、9月の開催委員会で承認を取ることでどうかとの意見がなされた。また、名古屋の会場は和歌山と違い観覧席が無いことによる一般客の入場場所、バッテリー充電場所をふまえた上での会場内の動線、コロナ対策等も考慮し、レイアウトを作成する必要があるとの確認がなされた。

(6) その他

①水野専務理事より、2020年度WLレスキューLineにシーソーが追加されたことを受け、各ブロック・ノードで取り入れる場合には、図面の公開を田中監事に依頼しており、シーソーは販売も検討しているとの説明がなされた。大橋代表理事より、競技として認めた備品であればライセンスの問題はないことの確認がなされた。田中監事より、図面は提供することができるが、ジャパンオープンのコート上で作るものをベースにした図面のため、ノードやブロック大会で使用する場合は、個々の調整が必要であると説明がなされた。試作品は、水野専務理事と森重理事にデモンストレーションでチェックして頂くこととなった。

②森重理事より、ジュニア国際で新たなレスキューシミュレーションリーグのデモが始まる動きがあるが、国内では実機とシミュレーションが分かれており、技術委員会で実機とシミュレーションをひとつにするかなど検討が必要ではとの意見がなされた。大橋代表理事より、コロナの影響によりシミュレーションは今後活発に活動することが考えられるので、検討してよいのではとの意見がなされた。森重理事より、国際担当の野村理事やシミュレーションの技術委員と相談するとの回答がなされた。

③水野専務理事より、各地域・ブロックのコロナ対策やノード・ブロック大会の見通しについて、質問がなされた。

・今井理事より、沖縄では指導要領を基に収容人数の制限、手指消毒、毎日の参加者名簿作成等が定められており、現状ではブロック大会の開催を予定しているが、9月まではイベントの自粛が求められているとの報告がなされた。

・中島理事より、関東ブロックは例年どおり11月にノード1月にブロック大会を予定しているが、学校のスケジュールが未定のため、今後の動向で判断するとの報告がなされた。

・松山理事より、関西ブロックは学校の体育館を使用しているため、土曜日は授業の可能性があり、今年は借りることが難しいかもしれない。もし借りられた場合は、カテゴリ別、多日程、小規模での開催が考えられる。例年開催している夏のオープン大会は、会場の貸出が中止になったため、オープン大会も中止になったとの説明がなされた。

・水野専務理事より、東海ブロックも関西ブロックと同様に学校の施設を利用した開催であるため、同様の問題があるとの説明がなされた。

・島谷理事より、阪神ブロックは商工会議所での開催なので日程は押さえているが、小規模、多日程で開催を検討する必要があるとの報告がなされた。

・森重理事より、広島ブロックは9月に会場の使用はできるが、体験会は中止となったとの報告がなされた。

・小山理事より、埼玉ブロックでのノード大会は公共施設を利用するため、その施設の規則に準じる。ブロック大会は例年埼玉大学で行っているが、現状外部への貸出を行っていないため、今後交渉する必要があるとの報告がなされた。

(7) 議事録署名人の選任

本日の議事録署名人として、島谷氏、及び中島氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2020年6月21日

議長 大橋 健
議事録署名人 島谷 太
同 中島 晃芳

